

農と環境を守る地域協働活動事例集

～ 農地・水・環境保全向上対策 ～



市野々地域農水環境保全委員会(京丹後市)



糠塚環境保全会(宇治田原町)



鹿原地区活動組織(舞鶴市)



富田活動組織(京丹波町)



大原里づくりトライアングル(京都市)

(平成20年12月)

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会

はじめに

京都府農地・水・環境保全向上対策協議会では、本対策に取り組む活動組織の皆様が、この活動をきっかけに、共同活動がさらに地域づくりにつながるように、また、地域ぐるみで環境負荷低減に向けた営農活動が広がるよう、各地で実践されている地域力再生に向けた特徴ある活動を紹介する取組報告会をブロック毎に開催しました（平成20年7月～8月開催、のべ650人参加）。

この冊子は、今回発表をさせていただいた25の活動組織の取組事例をまとめており、多くの府民の方々にこうした取り組みについて理解を深めていただくとともに、活動組織の皆様の取り組みが今後も継続され、更にステップアップしていくための参考資料として御活用いただければ幸いです。

取組報告会の実施状況

山城ブロック

開催日：7月16日（水） 場所：京田辺市立中央公民館



浅水代かきにより環境負荷低減の営農活動を行う岩田地域資源保全隊



東田辺農地水環境保全協議会では、子供会と連携し、遊休農地を活用して稲作体験を実施しました。



野村地域資源保全隊では婦人会・老人会が中心になって農道沿いの花壇を取り組まれています。



練塚環境保全会では新しく移住してきた住民の参加も呼びかけ、ワークショップを開催し、地域プランづくりに取り組まれています。

◇参加者 約80名

◇報告者

- 野村地域資源保全隊（久御山町）石川 潤氏
- 環・農・土資源保全組合（城陽市）奥 喜久男氏
- 岩田地域資源保全隊（八幡市）東 彦祥氏
- 松井農地環境・水対策協議会（京田辺市）井上 照雄氏
- 東田辺農地水環境保全協議会（京田辺市）古川 健治氏
- 上井手地域資源保全会（井手町）中坊 陽 氏
- 練塚環境保全会（宇治田原町）垣内 秋弘氏
- 瓶原農地・水・環境保全会（木津川市）森下 譲二氏
- 市坂区水土里保全ネットワーク（木津川市）

◇星野委員長のコメント



- ・集落の話し合いの「場」が少なくなっている。もう一度、「場」を再生しよう。
- ・高齢者のもつ知恵・技術の伝承には、体験や実践する取組が必要である。
- ・役割について初めて分かることも多い。若い人に集落の役割を任せてみよう。
- ・活動の継続が大切である。参加者の充実感を如何に確保するかがポイント。
- ・毎年同じ取り組みではなく、少しずつレベルアップしてほしい。
- ・広報が大切である。特に非農家への情報発信や声かけに努めよう。
- ・ふるさとマップづくりの取組はよい。

京都府農と環境を守る地域協働活動支援委員会

星野 敏 委員長（京都大学大学院農学研究科教授） ※委員長には山城・丹後ブロックに出席していただきました。

南丹ブロック

開催日：8月4日（月） 場所：ガレリアかめおか



白土村づくり会は促進費を活用し、ため池の水路改修を地元直営工事で進めています。



船岡農地・水・環境保全向上対策委員会では小学校と連携して水棲生物の観察会を行いました。

◇参加者 約250名

◇報告者

- 神前ふるさとを守る会（亀岡市）森 良之氏
- 船岡農地・水・環境保全向上対策委員会（南丹市）河村 明義氏
- 白土村づくり会（京丹波町）田淵 敬治氏
- 神谷活動組織（南丹市）柿迫 義昭氏



神前ふるさとを守る会では子供会と連携し、ため池の外来種駆除を行っています。



神谷活動組織では米糠、油粕を活用した環境にやさしい米づくりに取り組んでいます。

中丹ブロック

開催日：8月1日（金） 場所：綾部市中央公民館



上八田水土里会では、広報誌を集落全体に配布し、地域住民の参加を呼びかける取組を行っています。



十倉地域資源環境保全組合では、地域の畜産農家と連携し、牛糞堆肥を利用した米づくりが行われています。

◇参加者 約140名

◇報告者

- 下川口地域資源保全会（福知山市）松井 志岡雄氏
- 鹿原地区活動組織（舞鶴市）富室 孝氏
- 上八田水土里会（綾部市）塩尻 泰一氏
- 十倉地域資源環境保全組合（綾部市）川端 貞男氏



下川口地域資源保全会では地元の取組や美しい景観の写真を集め、地域の文化祭でコンテストを行いました。



鹿原地区活動組織では子供達が描いた看板を設置し環境保全活動をPRしています。

丹後ブロック

開催日：8月7日（木） 場所：アグリセンター大宮



沓江農地・水・環境保全委員会では小学校と連携して、ホタルが飛び交い、メダカの棲む地域環境づくりに取り組んでいます。



品田環境保全委員会では、フェロモントラップを使って、化学合成農薬を低減した営農活動を行っています。

◇参加者 約130名

◇報告者

○木橋区農地・水・環境資源保全隊（京丹後市）吉岡 功光氏

○品田環境保全委員会（京丹後市）関 昌弘氏

○小田宍野環境会議（宮津市）狩野 重幸氏

○沓江農地・水・環境保全委員会（与謝野町）青木 順一氏



小田宍野環境会議では子供会と連携し、農道にグランドカバープランツの植栽を行いました。



木橋区農地・水・環境資源保全隊では、親子が参加して生き物調査を実施したり、ホタルの棲息環境を保全する取組をしています。

京都市・乙訓ブロック

開催日：7月15日（火） 場所：ルビノ京都堀川



山国水・土・里を守る会では地元のイベントと併せ農地にヒマワリやコスモスを植えました。イベントに来た地域内外の人からは美しい景観に好評を得ました。



粟生地域環境保全組合では、子供会と連携してため池の生き物調査を実施しました。

また、化学農薬低減技術により、トマトの栽培を行っています。

◇参加者 約50名

◇報告者

○大原野「水土里リフレッシュ」（西京区）幡 信道氏

○深草月とうすらの里づくりの会（伏見区）杉井 正治氏

○山国の水・土・里を守る会（京北町）大栢 隆氏

○粟生地域環境保全組合（長岡京市）春田 忠男氏



深草月とうすらの里づくりの会では、荒れた竹林の再生や地元高校生も参加して、ため池周辺の花壇整備を行いました。



大原野「水土里」リフレッシュでは、小学校と連携し、ため池で外来魚の捕獲活動を行いました。

活動組織の取組事例

目 次

京都市・乙訓地域

- 大原野のため池群で里山再生に取り組む
大原野「水土里リフレッシュ」(京都市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- NPO・地域・学校が連携して里山保全に取り組む
深草月とうずらの里づくりの会(京都市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 27団体連携で「山国の里づくり」に取り組む
山国の水・土・里を守る会(京都市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 地域のふれあいを深めるため池の生き物調査
粟生地域環境保全組合(長岡京市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

山城地域

- 農地と花ハス原種の保全を地域ぐるみで
環・農・土資源保全組合(城陽市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 地域の保全とともに営農の活性化を目指す
岩田地域資源保全隊(八幡市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 高速道路建設に伴う都市化から地域ぐるみで農村環境の保全を
松井農地環境・水対策協議会(京田辺市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 地域保全活動とともにドジョウの保護・増殖を
東田辺農地水環境保全協議会(京田辺市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 次世代を担う若手指導者誘導の多彩な地域協働活動
野村地域資源保全隊(久御山町)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 大正池の維持管理とともに地域農村環境の保全を
上井手地域資源保全会(井手町)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 将来の地域づくりを区民参画で考える
糠塚環境保全会(宇治田原町)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 「もう一度、昔の市坂区に」を合い言葉の地域協働活動
市坂区水土里保全ネットワーク(木津川市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 歴史的な大井手水路を核とした広域集落連携による地域保全
瓶原農地・水・環境保全会(木津川市)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

南丹地域

ロハスな村づくりを目指して

神前ふるさとを守る会（亀岡市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

多様な組織と連携した地域活性化

船岡農地・水・環境保全向上対策委員会（南丹市）・・・・・・・・・・ 38

協働活動で集落コミュニティ再生

神谷活動組織（南丹市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

未来につながる村づくり

白土村づくり会（京丹波町）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

中丹地域

学校との連携による環境保全活動

下川口地域資源保全会（福知山市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

『田園・自然・鹿原』－ホテルが結ぶ集落の環－

鹿原地区活動組織（舞鶴市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50

集落全員で『水土里』を守ろう！

上八田水土里会（綾部市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

地域一体の景観保全向上活動と先進的営農の取組

十倉地域資源環境保全組合（綾部市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

丹後地域

自然の恵み豊かな郷土をみんなで守ろう！

小田宿野環境会議（宮津市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

『共同の力』を発展させよう

品田環境保全委員会（京丹後市）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

力を合わせて伸びゆく村を

木橋区農地・水・環境資源保全隊（京丹後市）・・・・・・・・・・・・ 64

ホテルとメダカの里づくり

温江農地・水・環境保全委員会（与謝野町）・・・・・・・・・・・・ 67

京都府の取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

大原野のため池群で里山再生に取り組む

組織番号	6260940003
ふりがな	おおはらの「みどりリフレッシュ」
活動組織名	大原野「水土里リフレッシュ」
ふりがな	きょうとしにしきょうくおおはらの
所在地	京都市西京区大原野



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間農協協定対象[ha]
農用地	協定	176.5	12.0		188.5	
	対象	160.1	10.6		170.7	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]		
	41.3		22	24.4		

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	4	うち農業者[人]		うち非農業者[人]	
	農業関係団体数 [団体]	3	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・大原野土地改良区 ・大原野構造改善協議会 ほ場整備地域運営会議 ・京都中央農業協同組合 大原野支店運営協議会 		
	その他の団体数 [団体]	1	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・大原野自治連合会 		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水路、農道の草刈りや泥上げ
誘 導 (農地・水向上)	・水路の目地詰め ・ため池の水抜きによる点検・補修
誘 導 (農村環境向上)	・地域の小学生と連携した、ため池での生き物調査・外来魚駆除
主な使途	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の台帳整備費 ・施設の小規模な補修に係る委託費 ・生き物調査に係る資材費

◇共同活動状況写真



(基礎)

農業用水路の泥上げ作業



(誘導)

小学校と連携し、ため池の外来魚の捕獲活動を実施



(ステップアップ)

不同沈下した水路の補修
パイプラインへの布設替え



(ステップアップ)

グラウンドカバープランツを活用した雑草対策の取組 (センチビートグラス)

◇ステップアップ支援 (促進費) の取組

高度な農地・水向上	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の補修 ・グラウンドカバープランツの植栽 (センチビートグラス、葉シートの布設)
-----------	--

○取組にあたって工夫したこと

地域の小学生とともに、ため池「水抜き」生き物調査を行うに当たっては、初めての試みでもあったため、水路での生き物調査と違い、底泥があるため、容易に水の中に入らず、生き物捕獲ができないのではという不安があった。

しかし、講師としてお迎えした社団法人農村環境整備センターの職員の方々のアドバイスにより、泥の中に入らずに済むよう、事前に池底にコンパネを敷き、通路を設置した。

コンパネ通路が泥に隠れても位置がわかるよう、通路両端にポールを何本か挿した。これにより小学生でも池の中に安心して入り、生き物捕獲を行うことができた。

○活動組織（地域）で誇れること

大原野「水土里リフレッシュ」が行った、ため池「水抜き」生き物調査は、4つのリフレッシュ効果があり、このリフレッシュ活動を地域住民と行うことができた。

また、この活動結果を集約したA3カラーのチラシを地域住民に広く配布し、活動の必要性を深くPRできた。

さらに、地域のため池は補助的な農業用水で、担い手不足等も影響して、池干しが行われてこなかったが、農家に対してその必要性が再認識された。

1 『みどり』生態系のリフレッシュ

外来魚類を駆除し、同じ流域にすむ日本産魚類を放流することにより、本来の生態系の回復を試みている。

繋がりが合う生き物の復活は、農作物の害虫の天敵を守ることにも繋がる。

2 『水』水質のリフレッシュ

底泥のリフレッシュにより、富栄養化の進行が抑えられ、水質改善が図られた。

また、今回の外来魚駆除による生態系のリフレッシュは、復活した水生植物等による水質浄化作用も期待される。

3 『土』底泥のリフレッシュ

毎年度行われるべきであるが、冬期の池干しにより、底泥への酸素供給が行われ、窒素やリンの除去が図られた。

4 『里』景観のリフレッシュ

不法投棄された池底のゴミを清掃活動により回収した。

さらに、生態系のリフレッシュは生物多様性を生み、農村の原風景復活の一助となる。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

・大原野地域は、京都市内でも農業用ため池が数多く存在する農業振興地域であり、農村環境向上活動について、ため池での活動を中心に取り組んでいる。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

・地域の小学生や先生が、ため池の役割や農村環境についての体験学習ができたとのことであった。

また、小学校の先生から今後もこういった取組みを展開してほしいとの声があった。

さらに、他のため池でも同様にブルーギルの駆除を行うべきだとの声もあった。

○今後の活動の展開について

・地域を代表する資源の1つは「ため池」で、その存在と役割を再認識する必要があり、今回の活動はその第1歩である。

今後、地域住民全体が主人公になり、誇るべき資源として農地・水・環境を守り育む活動に取り組んでいく。

NPO・地域・学校が連携して里山保全に取り組む

組織番号	6260940004
ふりがな	ふかくさつきとうすらのさとづくりのかい
活動組織名	深草月とうすらの里づくりの会
ふりがな	きょうとしふしみくふかくさ
所在地	京都市伏見区深草



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定		49.1		49.1	
	対象		38.0		38.0	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	1				
	パイプライン[km]			1	2.9	
				ため池[個所]	農道[km]	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]	うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	1	内 訳	・京都市農業協同組合深草支部
	その他の団体数 [団体]	2	内 訳	・NPO法人「京都・深草ふれあい隊 竹と緑」 ・深草ふれあい農業体験団

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水路、農道の草刈りや泥あげ
誘 導 (農地・水向上)	・農道の補修、拡幅等 ・ため池の泥あげ
誘 導 (農村環境向上)	・地域の住民、伏見工業高校と連携し、ため池の清掃活動、花壇作り ・地域の住民、藤森中学校と連携し、花壇への植花 ・団体の取組のPR活動 ・伏見工業高校と連携し、地域のマップ、看板作り
主な用途	・活動参加者への日当 ・活動に必要なとなる資材費等（混合ガソリン、苗等） ・重機等の借り上げ経費

◇共同活動状況写真



(基礎)
水路の泥上げ作業



(誘導)
直営作業による農道のアスファルト舗装



(誘導)
花壇の整備（深草中学校と連携）



(誘導)
不法投棄物を撤去するなど農村を美しくする活動が地元が一体となって展開されています。

○取組にあたって工夫したこと

- ・今まで個々の農家が行ってきた施設の維持・管理を、地域の力で行っていくという方向に変換していくこと。
- ・地域の学校への参画の呼びかけ。
- ・地域に農家以外の人間が入ることへの理解を得ること。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・農家団体と地域住民の団体の協力体制が非常にうまくいっている。
- ・地域の学校との連携も非常に密に行われるようになっていく。
- ・当初活動組織が思っていた活動内容以上のものが行われている。
- ・今後も様々な計画が予定されており、地域にとって楽しみな状況になってきている。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・深草地域は古くからたけのこの産地であったが、近年、手入れが行き届かない竹藪も増えてきていた。そのような状況の中、地域の竹藪をきれいにしようという取組が始められ、そのような活動を行うNPO法人も立ち上がり、地域をきれいにしたいという機運が高まりつつあった。
- ・地域の景観を美しくしたいという取組の中で、地域の学校と連携し、地域の良さの再発見や、地域のPRを行うことに力を入れている。
- ・今後も、地域の景観をもっとよくするために取り組んでいきたい。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・共同活動があまり行われていない地域であったが、地域の資源を保全するためには共同で活動しようという流れになってきた。
- ・活動を通じていろいろな組織とつながりができ、地域を良くしたいという共通の目標のために一緒に活動し、大きな人の輪ができた。

○今後の活動の展開について

- ・現在、京都精華大学、京都教育大学の学生と協力し、竹の有効活用を進める取り組みを行っている。また、伏見工業高校や深草中学校と連携し、地域の環境保全活動や看板作りなどを進めている。
- ・また、行政とも連携し、不法投棄対策や環境保全活動も積極的に行っている。
- ・今後もいろいろな団体との連携を大切にし、活動を進めていきたい。



深草月とうすらの里づくりの会の
マスコット キャラクター
(京都市立伏見工業高校産業デザイン科制作)

27団体連携で「山国の里づくり」に取り組む

組織番号	6260940010
ふりがな	やまぐにのみどりをまもるかい
活動組織名	山国の水・土・里を守る会
ふりがな	きょうとしうきょうくけいほく
所在地	京都市右京区京北



【位置図】

○協定の対象となる資源

農用地	田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
	協定	174.1	1.0		175.1
対象	135.2	0.7		135.9	
農業用施設 [km、箇所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[箇所]	農道[km]	
	47.0	0.1	8	10.4	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]	うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	13	内 訳	・京北六ヶ土地改良区 ・京北大野土地改良区 ・六ヶ地域営農組合 ・農家組合（小塩、初川、井戸、大野、 比賀江、中江、塔、辻、鳥居、下）
	その他の団体数 [団体]	14	内 訳	・山国自治会 ・町会（小塩、初川、井戸、大野、 比賀江、中江、塔、辻、鳥居、下） ・京北第二小学校 ・くろやま塾・山国さきがけセンター

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> 農用地、開水路、パイプライン、ため池、農道の点検及び共同作業 計画の策定 水路の泥上げ 水路、農道、ため池周りの草刈及び遊休農地発生防止のための安全管理
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> 破損した水路の改修 獣害防護柵の適正管理 各施設のきめ細やかな草刈
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の小学生と連携したアサガオの植栽 上桂川堤防沿いに桜の植樹 山国まつり、山国さきがけフェスタを盛り上げるコスモス、ヒマワリの植栽
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> 水路の泥上げ、きめ細やかな草刈りなど、共同作業への手当て 重機等の借り上げ経費 植栽植樹の資材費

◇共同活動状況写真



(基礎) 水路の泥上げ作業



(誘導) 幹線用水路の浚渫



(誘導) 獣害防護柵の修繕作業



(誘導) 山国まつりを盛り上げる
コスモス、ヒマワリの植栽

○取組にあたって工夫したこと

【背景】

- 1 地域の基幹産業である農林業の衰退
- 2 若者の都市への転出、過疎・高齢化の進展と農林業の後継者問題
- 3 遊休農地、荒廃した農地の拡大傾向
- 4 住民意識の多様化に伴う地域コミュニティ機能の低下と、協力共同活動意識の脆弱化

【本事業を生かした地域の目指すべき方向】

『極めて恵まれた環境にある農山村であることに自信と誇りを持ち、すべての団体が協力共同の意識を醸成し、農村環境の保全、向上と地域の活性化を目指す』

【工夫した点】

- 1 活動の広域化、意識の共有化、事務処理の効率化などスケールメリットを生かすため、1組織とした。
- 2 自治会を始めとした団体、町会、農家組合、土地改良区など27団体
(平成19年度の共同活動に延べ約700名)参加

【課題】

- 1 各組織の共同活動に対する取組み姿勢に温度差があり、意識の共有化が必要
- 2 各団体の組織力を高めるためにリーダーの育成が急務

○活動組織（地域）で誇れること

- 1 山国地域は、「京都でも屈指の美林」、[鮎釣りて賑わう清流上桂川]、「ほ場整備された豊かな農地」、「優れた歴史と文化」加えて、京都市の中心部から比較的近い恵まれた農山村であること。
- 2 地区内すべての団体、住民組織が構成団体として加盟し、活動計画に賛同、共同活動に取り組むなど、今後の事業展開に希望が持てたこと。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- 1 農地をはじめ地域の環境保全向上のための本事業に取り組むことにより、協力共同意識を高め、地域力をつけ、新たな「山国の里づくり」に挑戦する。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- 1 草刈や農道補修などの共同作業について、地域全体が統一した意識のもとで取り組むことができ、参加者も増加した。
- 2 山国の一大イベントである山国神社祭典に合わせ参道に景観作物ひまわり・コスモス(600㎡)を植栽、花摘みを体験いただくなど、新たな試みとして好評を得た。
- 3 町会、農家組合の取組に格差が見受けられることから、意識の共有化を図りたい。

○今後の活動の展開について

- 1 山国地域の農地・農業用水などの農業施設や農村環境の良好な保全、向上を図るための共同活動を進めることにより、地域の協力共同意識のさらなる高揚を図る。
- 2 山国地域における遊休農地の拡散の防止に努めるため遊休農地の再開発（果樹、花木の植栽）を目指す。（有害鳥獣対策が課題）
- 3 山国地域における将来の農業、農地についてのアンケートで、5年後約50%の農家が後継者がなくなるとの結果も出ており、農業の担い手の育成が急務となっている。
 - ①地区住民の出資による農業生産法人「(有)山国さきがけセンター」の地域営農組織体制の強化を求めるとともに積極的な支援を行う。
 - ②上記、「農業生産法人」が現在の加工、販売部門だけでなく、こだわり農法による「やまぐに米」の開発など農業生産企業化に取り組むと共に、里づくりや、都市農村交流農業「食育の里・山国」の核となるよう支援、協力を進める。
 - ③上記の活動拠点として、山国『水・土・里の館』（仮称）整備構想実現のため地域あげて取り組みたい。

地域のふれあいを深めるため池の生き物調査

組織番号	6260940016
ふりがな	あおちいきかんきょうほぜんくみあい
活動組織名	栗生地域環境保全組合
ふりがな	ながおかきょうしあお
所在地	長岡京市栗生



【位置図】

○協定の対象となる資源

	田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]		
農用地	協定	11.7	0.2	11.9			
	対象	9.98	0.04	10.02			
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]			
	3.2		3				
営農活動対象区域	区域内農用地面積 [ha]			11.9			
先進的営農取組 面積(計画)[ha]	水稻	麦・豆類	いも・根菜類	葉茶菜類	果樹・果実前処理類	施設トマト等	その他
						0.21	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	38	うち農業者[人]		うち非農業者[人]	
	農業関係団体数 [団体]	1	内 訳	・栗生農家組合		
	その他の団体数 [団体]	3	内 訳	・栗生自治会 ・栗生壽くらぶ(老人会) ・栗生子供会		
	営農活動支援	区域内 農家[戸]	38	環境負荷低減に取り 組む農家 [戸]	10	先進的営農支援に取り組む 農家(のべ) [戸]

○活動概要

◇共同活動(代表的活動・特徴的活動)

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> 水路、ため池の草刈りや泥上げ ため池管理道路の維持管理
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> 水路の清掃作業 施設の補修等の保守点検
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全活動 子供会等による生き物の生息調査
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> 活動参加者への日当 活動資材費(土のう、作業用軍手、散水ノズル等) 清掃車両の借上げ経費

◇共同活動状況写真



(基礎) 開水路の草刈作業



(基礎) 開水路の泥上げ作業



(誘導) ため池の水抜きによる点検・補修



(誘導) 子供会と生き物調査実施

◇営農活動（代表的活動・特徴的活動）

地域全体で行う環境負荷低減の取組(主な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥等有機質資材の施用 ・有機質肥料の施用
環境負荷低減に向けた推進活動(営農基礎活動支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌分析に基づく土づくり ・竹チップ原料の有機肥料栽培の実証
先進的な取組(先進的営農活動の主な使途)	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的取組農家（施設トマト）の面積に応じて100%配分

◇営農活動状況写真



黄色蛍光灯・マルチの活用



太陽熱利用の土壌消毒



有機液肥の局所施肥

○取組にあたって工夫したこと

- ・年度途中からのスタートであったことから、これまで行ってきた作業を中心に事業を展開する事とした。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・地域内を流れる水路は、一般排水路も兼ねていることから生活環境の維持、向上を図っていく観点から、非農家を含めた自治会全員で、今日まで年二回の清掃作業を行っている。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・構成員がそれぞれの立場で取組みを展開することによって、自然環境の保全への意識が高まることを期待している。
- ・交付金の対象が魅力。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・子供会との連携については、事故等も心配していたが無事故で、池の泥流し作業の見学と生物（コイ、フナ）観察に大きな反響があり継続して実施していく。
- ・各組織の運営費の一助となっており構成員からも大変喜ばれている。
- ・提出書類が多く記入内容も煩雑である。
- ・作業中の写真を撮ることが困難であった

○今後の活動の展開について

- ・住宅地と近接した農用地であり、良好な生活環境の空間地として市民からも親しまれており、地域ぐるみでこの優良農地を守っていきたい。
- ・しかし、一方では農業従事者の高齢化は進んでおり、耕作放棄地が発生しないよう耕作者の発掘にも努めたい。

○その他（要望・意見）

- ・提出書類の簡素化をしてほしい。
- ・領収書の取扱いを一考してほしい。

農地と花ハス原種の保全を地域ぐるみで

組織番号	6260940018
ふりがな	かんのんどうしげんぼぜんくみあい
活動組織名	環・農・土資源保全組合
ふりがな	じょうようしがんのんどう
所在地	城陽市観音堂



【位置図】

○協定の対象となる資源

	田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間部協定対象[ha]
農用地	協定	19.6	1.2	20.8	
	対象	19.6	1.2	20.8	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]	
	2.1	3.9	1	1.0	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]	うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	3	内 訳	・観音堂農家組合 ・内川土地改良区 ・JA京都やましろ城陽南支店
	その他の団体数 [団体]	2	内 訳	・NPO法人ホトスペースはなしょうぶ ・観音堂子ども会

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水路、農道の草刈りやため池、側溝の泥上げ
誘 導 (農地・水向上)	・破損施設の改修（開水路、ため池、パイプライン、農道）
誘 導 (農村環境向上)	・ため池跡地を活用した景観植物（ハス）の植栽とハスの観察会開催（地域交流活動） ・子ども会と連携し魚とり大会等開催（生き物調査）
主な用途	・活動参加者への費用弁償 ・活動に必要な資材費等（補修等の材料代、苗等物材の購入費） ・啓発、普及を行うための活動費用

◇共同活動状況写真



(基礎) 開水路の泥上げ作業



(基礎) 農道の草刈り作業



(誘導) 蓮の植栽活動



(誘導) 子供会と生き物調査を実施

○取組にあたって工夫したこと

- ・役割分担は決まっているが、仕事の関係で分担どおりの取り組みができなかったが、構成団体のフォローが得られた。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・農家と農家以外の住民、子ども会など、立場や世代を越えた地域全体で取り組みが出来ること。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・これまで接点のなかった住民が、この事業により共に汗を流すことで地域の交流を図ること。
- ・子ども達が、生き物に触れる機会をつくる（魚とり、ザリガニとり等）生き物調査を実施すること。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・地域住民のつながりが強くなったこと。
- ・地域みんなで農業施設や農業環境の状況が把握できたこと。

○今後の活動の展開について

- ・ため池（常楽池）を活用し、地域住民の安らぎの水辺空間として整備を図る。また、常楽池には、「雨乞い地藏さん」が祠の中に眠っており歴史的な価値のある農業施設の保全を図りながら、地域の魅力を情報発信していきたい。

地域の保全とともに営農の活性化を目指す

組織番号	6260940019
ふりがな	いわたちいきしげんほぜんたい
活動組織名	岩田地域資源保全隊
ふりがな	やわたしいわた
所在地	八幡市岩田



【位置図】

○協定の対象となる資源

	田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地出産対象[ha]		
農用地	協定	25.3	7.2	32.5			
	対象	25.3	7.2	32.5			
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]			
	7.1	1.7	—	4.0			
営農活動対象区域	区域内農用地面積 [ha]			32.5			
先進的営農取組 面積(計画) [ha]	水稻	麦・豆类	いち・根菜類	葉茎菜類	果菜・果実的野菜類	施設トマト等	その他
				0.04		1.07	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	56	うち農業者[人]		うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]		内 訳		
	その他の団体数 [団体]	2	内 訳	・上区自治会 ・上区消防団	
	営農活動支援	区域内 農家[戸]	環境負荷低減に取り 組む農家 [戸]	先進的営農支援に取り組む 農家(のべ) [戸]	
	45	38	11		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水路、農道の草刈りや泥上げ（年4回）
誘 導 (農地・水向上)	・水路の目地詰め ・破損施設の改修（開水路、パイプライン、農道）
誘 導 (農村環境向上)	・遊休農地を活用した景観作物（コスモス）の植栽活動
主な用途	・活動に必要なとなる資材費等 （草刈機、記録用カメラ、アグリシート、水路管理用資材等の購入）

◇共同活動状況写真



(基礎) 消防団が中心になった
地域用水への利用



(誘導) 幹線水路の泥上げ作業(2月)

◇営農活動(代表的活動・特徴的活動)

地域全体で行う環境負荷低減の取組(主な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥等有機質資材の施用 ・有機質肥料の施用 ・浅水代かき ・機械除草
環境負荷低減に向けた推進活動(営農基礎活動支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察調査の実施
先進的な取組(先進的営農活動の主な使途)	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的取組農家(施設トマトと葉茎菜類(ミズナ))の面積に応じて100%配分

◇営農活動状況写真



防虫ネット・マルチ・黄色粘着シートの活用



新技術導入検討会
生物農薬(天敵農薬)技術の試験的導入

○取組にあたって工夫したこと

- ・非農家の組織への参画の呼びかけ
- ・呼びかけるにあたり、対策の制度の理解に苦勞した。
- ・会計等の事務を自前で処理するには、荷が重い。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・女性が積極的に活動に参加している。
- ・集落の全員が活動に参加している。
- ・遊休荒廃農地が少なくなった。
- ・集落で美化意識が高まってきた。
- ・地域全体で浅水代掻きを实践、地域河川への濁水流出減少

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・農村景観の保全活動
- ・地域で生産された環境にやさしい安心・安全農産物を地元へ供給し、地産地消を推進
- ・地域住民へより一層の参加を推進

○取り組んでよかったこと・苦勞したこと

- ・地域のみんなで集落環境の点検ができた。
- ・非農家が積極的に参加してくれた。
- ・地域の総意にいたるまで何回も話し合いをした。

○今後の活動の展開について

- ・活動組織において主要な役割をはたす農業者のうち、地域農業の担い手となる農業者の育成は、組織の体制強化につながることから、担い手の育成・確保に努める。

○その他（要望・意見）

- ・前回、事務簡素化されたが、よりいっそうの簡素化を願いたい。

高速道路建設に伴う都市化から地域ぐるみで農村環境の保全を

組織番号	6260940020
ふりがな	まついのうちかんきょう・みずたいさくきょうぎかい
活動組織名	松井農地環境・水対策協議会
ふりがな	きょうたなべしまつい
所在地	京田辺市松井



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	51.7	3.1		54.8	
	対象	51.7	3.1		54.8	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]		
	10.8	9.2	3	9.0		

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	24	うち農業者[人]	24	うち非農業者[人]	
	農業関係団体数[団体]		内 訳			
	その他の団体数 [団体]	4	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・松寿会（老人会） ・松井消防団 ・松井子供会 ・体育・文化部 		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・水路、ため池の草刈りや泥上げ ・ため池管理道路の維持管理
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の清掃作業 ・施設の補修等の保守点検
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全活動 ・子供会等による生き物の生息調査
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参加者への費用弁償 ・活動資材費（土のう、作業用軍手、散水ノズル等） ・清掃車両の借上げ経費

◇共同活動状況写真



(基礎) 開水路の草刈・泥上げ



(基礎) 農道の草刈・砂利の補充



(誘導) きめ細かな雑草対策



(誘導) 農道沿いのサルスベリの植栽活動

○取組にあたって工夫したこと

- ・合意形成
- ・活動計画及び申請書等資料の作成

○活動組織（地域）で誇れること

- ・共同作業に参加する構成員の意識が高い。また、集落全員の意識も高い。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・サルスベリの植栽。ほ場整備後の農村景観の向上。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・共同作業に参加した各種団体の運営が活性化した。
- ・区民に協議会の存在や色々な活動を浸透させるのに苦労した。

○今後の活動の展開について

- ・松井では、地域リーダーを育てる基盤はある。（子供会、体育・文化部で若いリーダーが育成される。）こうした若いリーダー（サラリーマン化が実感）が今後、農業と地域とを保全していくリーダーになってくれるような整備づくりを考えていく。協議会としては、こうした若いリーダーの指導で、地場の特産品などが生まれればすばらしいと考えている。

地域保全活動とともにドジョウの保護・増殖を

組織番号	6260940021
ふりがな	ひがしたなべのうちみずかんきょうほぜんきょうぎかい
活動組織名	東田辺農地水環境保全協議会
ふりがな	きょうたなべしひがし
所在地	京田辺市東



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	47.5	9.0		56.5	
	対象	28.4	8.0		36.4	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]		
	10.8	9.2	3	9.0		

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	23	うち農業者[人]		うち非農業者[人]	
	農業関係団体数 [団体]	1	内 訳	・綴喜西部土地改良区		
	その他の団体数 [団体]	1	内 訳	・東区		

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の発生状況を把握し、適切な管理を実施 ・施設の点検、共同作業計画の策定、施設周辺の草刈り、水路の泥上げ等を定期的実施
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地・農業用水等の資源の質的向上（長寿命化）を図る活動として、施設の機能診断、年度活動計画の策定、施設の簡易な補修、法面の初期補修、洪水後の見回り、その他の活動を実施
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発・普及、遊休農地を活用した子供会稲作体験活動（植え付け、刈り取り） ・幼稚園、改良区、緑化協会と共同で景観形成作物の育成活動を実施 ・水質保全の意識付けを図るため遊休農地を利用したドジョウの飼育や河川での魚つかみ体験を開催
主な使途	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者への日当 ・活動に必要な材料費等

◇共同活動状況写真



(基礎) 排水路の草刈り作業



(基礎) 水路の藻等の除去



(基礎) 遊休農地の保安全管理



(誘導) 子供会稲作り体験の実施

○取組にあたって工夫したこと

- ・ 農業者以外との協働活動は以前からあり対象事業の区分や役員内での意思統一
- ・ 対象事業費の分類

○活動組織（地域）で誇れること

- ・ 兼業農家が大半であるにも係わらずほとんど遊休農地がなく管理状態が優れている。
- ・ 集落全員が参加者である。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・ 東区では、従来から農家組合を主体として農地・農業用水等の資源を維持保全する活動が実施されており、施設等の良好な使用が保たれてきた。
- ・ 併せて、東区、西部土地改良区等の地域住民も施設の管理、農村集落の景観形成等の役割を果たしている。
- ・ 農業者の高齢化が進む中、将来に向けても資源を良好に維持保全していくための仕組みづくりが必要で、東田辺農地水環境保全協議会の基に各組織が連携し、活動の改善と更なる質的向上を実践して地域振興を図る。

◇特に力を入れていること

- ・ 資源を良好に維持保全していくための仕組みづくりが必要で、本協議会の基に各組織が連携し、活動の改善と更なる質的向上を実践して地域振興を図る。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・ 田植え体験等を通じて非農家の子どもたちに、農地環境の大切さを教えることができた。

○今後の活動の展開について

- ・ 蛍の住む川づくりをめざす。
- ・ 維持管理活動を枠組み化して施設の適切な管理と延命化を図る。

次世代を担う若手指導者誘導の多彩な地域協働活動

組織番号	6260940025
ふりがな	のむらちいきしげんほぜんたい
活動組織名	野村地域資源保全隊
ふりがな	くみやまちょうのむら
所在地	久御山町野村



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	9.3	8.1		17.4	
	対象	9.3	8.1		17.4	
農業用施設 [km、箇所]	開水路[km]		排水路[km]	揚水機[箇所]	農道[km]	
		1.8	1.9	1	2.1	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]	うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	2	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・野村農家組合 ・巨椋池土地改良区
その他の団体数 [団体]	3	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・野村自治会 ・野村老寿会（老人会） ・野村きさらぎ会（婦人会） 	

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・用水路の泥上げや草刈り
誘 導 (農地・水向上)	・きめ細やかな雑草対策として、夏場における用水路法面及び農道路肩の草刈りを実施
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成のための施設への植栽活動として花壇を設置し、婦人会組織「野村きさらぎ会」が維持管理を実施 ・農業用施設等の定期的な巡回点検・清掃活動として農用地周辺のゴミ拾いを実施
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用備品（実績報告書作成用器具）の購入 ・花壇の設置 ・草刈機、長鎌、スコップの購入

◇共同活動状況写真



(基礎) 水路の泥上げ作業



(基礎) 水路の草刈り作業



(誘導) 花壇の植栽活動



(誘導) 花壇の植栽活動



(誘導) 農道の清掃活動



(誘導) 農道の清掃活動

○取組にあたって工夫したこと

- ・当集落は、昔からみんなで協力し合って地域資源を保全管理していく習慣があったため、本事業を取り組むに当たり異論は出なかった。
- ・しかし、交付金で支援される期間が5年と限定されるため、幅広く活動をした場合、事業完了後の活動の継続を懸念する意見もあったが、各団体役員で協議し事業完了時までには方向付けを行うことで見切り発車した。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・自治会、農家組合、土地改良区、婦人会、老人会といった各組織間の横の繋がりが強く、住民相互もまとまっているため、地域のみんなで取り組める体制を常に維持している。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・本事業を取り組むまで、当集落では、農村資源の維持管理は農家組合、環境美化活動は自治会の役割と区別していた。例えば、用水路等の泥上げは農家組合全員で一斉に行うなどしていた。
当集落は、昔からの農業集落で、今も世帯の大半が農家という土地柄である。集落内の共同作業には毎回各世帯から出てもらって、集落の維持管理は自分たちで行うものであるとの認識から、本事業の導入に何ら問題はなかった。
- ・活動組織として特に力を入れていることは、自分たちの集落は自分たちで守っていくという強い信念を持ち、各組織の連携強化を図っていることである。
集落の老若男女、みんなが何か一つ地域に貢献することをモットーに事業に取り組んでいる。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・農村資源の維持管理については、従来、農家組合員だけの取り組みでしたが、この事業の取り組みにより非農家の方から前向きな声が聞けたことが良かった。
- ・簡素になったとのことですが、なお、やたら提出書類が多いことに苦労している。

○今後の活動の展開について

- ・今後も現状の組織構成を維持しつつ、各構成員が連携し合って本事業の取り組みをより一層推進したい。

大正池の維持管理とともに地域農村環境の保全を

組織番号	6260940026
ふりがな	かみいでちいきしげんぼぜんかい
活動組織名	上井手地域資源保全会
ふりがな	いでちょうかみいで
所在地	井手町上井手



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	23.9			23.9	
	対象	23.9			23.9	
農業用施設 [km、箇所]	開水路[km]	9.5				
	パイプライン[km]			2		
				ため池[箇所]	2	
				農道[km]	2.1	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]		うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	4	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・上井手実行組合 ・新田水利組合 ・旧田水利組合 ・井手土地改良区 	
	その他の団体数 [団体]	3	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・上井手区 ・上井手子供会 ・井手町消防団第1分団第4支部 	

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水・農道・ため池の草刈りや泥上げ
誘 導 (農地・水向上)	・水路の目地詰め・破損施設の改修（開水路・農道）
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を交えた話し合い ・井手小学校と連携して田植え・稲刈り体験活動 ・花の植栽活動
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な資材費等（生コン・用具） ・活動参加者への費用弁償

◇共同活動状況写真



(基礎) 開水路の草刈り・泥上げ作業



(基礎) 農道の草刈り作業



(誘導) 水路の目地詰め・破損箇所の補修(開水路・農道)



(誘導) 井手小学校と連携し、田植え体験

○取組にあたって工夫したこと

- ・事業の概要説明を区の総会など各種会合の場で行い非農家にも理解を求めた。結果として、子ども会や消防団などの若年層の団体組織の協力を得られた。
- ・会計経理・報告書の作成・写真撮影に苦労した。

○活動組織(地域)で誇れること

- ・上井手地区全体で取り組んでいる。
- ・他地区在住の地域内耕作者の方にも協力をして頂いている。

○特に力を入れていること(取組に至った背景等も含め)

- ・地域内の豊かな自然と農村景観の保存継続活動
- ・子供達の自然環境体験を通じて生き物や食物の重要性の啓発

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・地域住民の連携が以前より増した。
- ・水路の流れが良くなり水源の無駄が少なくなった。
- ・活動責任者の選択・活動作業の資材調達に苦労した。(休日作業のため)

○今後の活動の展開について

- ・地域活動と連携して地域伝統行事の担い手育成と確保
- ・地域資源保全会活動組織の情報発信と啓発活動

将来の地域づくりを区民参画で考える

組織番号	6260940028
ふりがな	ぬかづかかんきょうほぜんかい
活動組織名	糠塚環境保全会
ふりがな	うじたわらちょうたちかわ
所在地	宇治田原町立川



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	12.7	0.3		13.0	
	対象	12.7	0.3		13.0	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]		
	3.3		3	4.2		

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]	うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	1	内 訳	・糠塚水利組合
	その他の団体数 [団体]	1	内 訳	・糠塚自治会 世帯（農家34、非農家114）

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・開水路、ため池清浄、泥上げ及び点検 ・道路の草刈り
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池・親水公園整備、草刈り ・破損施設の改修（開水路・農道・土手）
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流活動 (休耕田を利用したサツマイモづくり。植付け・収穫) ・行政機関との協働活動実施（都市との交流事業） ・農用地を利用した景観配慮の作付け（コスモ・ホビ-・百日草・ヒマワリ）
主な使途	<ul style="list-style-type: none"> ・資材備品の購入（記録用カメラ、草刈機、チップソー他） ・参加者への費用弁償 ・会議その他諸費

◇共同活動状況写真



(基礎) 道路の道草刈り及び整備



(誘導) 地域住民との交流活動



(誘導)ため池周辺の親水水路を活用した
地域住民・都市との交流活動



農村環境資源マップづくりのための
集落内調査活動

○取組にあたって工夫したこと

- ・自治会を通じて各種集会でPRを行い理解を深めた。
- ・PRビラを作成し全戸配布した。
- ・活動内容により、個別に協力要請を行った。
- ・多数を占めている非農家の方への参加呼びかけに苦労した。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・自治会組織、水利組合組織を利用し、全戸に徹底している。(PRビラの配布・協力要請等)
- ・活動内容により全員参加を得ている。
- ・農村資源環境マップを作成している。
- ・子供会と連携をとり休耕田を利用してのサツマイモづくり。(平成19年300本、平成20年400本)

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・環境保全活動の意識を非農家・子供会の人たちにも理解してもらう。
(毎年役員が替わるので活動の協力要請。)
- ・地域にある伝統的な資源（農村景観）の保全活動（花作り）
- ・都市との交流事業

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・非農家・子供会等の積極的な参加が得られた。(サツマイモ植え、収穫祭)
- ・農村環境資源マップの作成は、初めての取り組みで、戸惑いもありましたが、試行錯誤して何とか軌道に乗つつある。
- ・地域の課題等を共有するとともに、みんなで地域のことを語り合えた。

○今後の活動の展開について

- ・農村環境資源マップの作成を通じて元気な村づくりプランに結びつける。
- ・1年間取り組んできた内容を定着させるとともに、新たな発想のもと、新しいものにもチャレンジしながら活動を一層充実させていきたい。

「もう一度、昔の市坂区に」を合い言葉の地域協働活動

組織番号	6260940029
ふりがな	いちさかくみどりほぜんネットワーク
活動組織名	市坂区水土里保全ネットワーク
ふりがな	きつがわしいちさか
所在地	木津川市市坂



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間直営協定対象[ha]
農用地	協定	72.6	7.6		80.2	
	対象	72.6	7.6		80.2	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]		
	13.8	1.0	3	11.4		

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]	うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	2	内 訳	・市坂実行組合 ・市坂水利組合
	その他の団体数 [団体]	5	内 訳	・市坂区 ・市坂老人会 ・市坂婦人会 ・市坂子ども会 ・市坂消防団

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・開水路、農道、ため池堤防等のゴミ清掃、草刈り、砂利の補填
誘 導 (農地・水向上)	・準幹線開水路の改修（U字溝敷設） ・ゲート類等(開水路、パイプライン、ため池)の保守点検と清掃・改修
誘 導 (農村環境向上)	・施設周辺の清掃活動 ・子ども会、老人会等構成団体による遊休農地（保全管理田）を活用した景観作物等の作付け（コスモス、サツマイモ、古代米等：約30a）
主な用途	・参加者の費用弁償 ・資材購入及び機械リース経費 ・備品（記録用カメラ、簡易倉庫）の購入経費

◇共同活動状況写真



(基礎) 準幹線水路のU字溝敷設作業



(誘導) 子ども会が中心となって行った
景観作物等の植付作業

(老人会、消防団、婦人会等連携)

○取組にあたって工夫したこと

- ・構成団体構成員の自主的参加の徹底
- ・活動記録や会計処理の事務分担と一元化整理担当（会計簿を除く）の配置

○活動組織（地域）で誇れること

- ・集落全員の積極的な参加意識が醸成され連帯感が復活しつつある。
- ・農業者組織団体（水利組合、実行組合）の活性化

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・「もう一度、昔の市坂区に」を合い言葉に、地域住民が出来る作業を確認し、今までと違った質の高い共同作業を行うことにより、農地及び農業用施設の保全と、混住化により薄れつつある地域住民の連帯機能向上をめざす。
- ・農業者の率先行動と非農家の協力

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・地域の総意に至るまでの協議の積み重ねが発足後の結束強化に繋がった。
- ・子ども会、婦人会、老人会等構成組織相互の合同共同活動による区民の親密化
- ・水路改修等、出役作業の復活

○今後の活動の展開について

- ・現在の市坂区水土里保全ネットワークを基本に区民の連携強化とニュータウン住民を巻き込んだ事業展開を模索したい。

○その他（要望・意見）

- ・日当については、参加団体の代表者領収で済ませるよう簡素化して欲しい。
- ・対象農地以外の集落周辺施設（寺社、祠等）についても、事業対象にして欲しい。
（集落界限と対象農用地の美化・清掃の一帯事業化）

歴史的な大井手水路を核とした広域集落連携による地域保全

組織番号	6260940030
ふりがな	みかのはらのうち・みず・かんきょうほぜんかい
活動組織名	瓶原農地・水・環境保全会
ふりがな	きづがわしかもちょう
所在地	木津川市加茂町



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	105.4	23.8		129.2	
	対象	105.4	23.8		129.2	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]		パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]	
		10.6		8	4.2	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]		うち非農業者[人]	
	農業関係団体数 [団体]	10	内 訳	・ 9集落の実行組合長 ・ 瓶原土地改良区		
	その他の団体数 [団体]	12	内 訳	・ 9集落の区・赫仁女性の会 ・ 瓶原まちづくり協議会 ・ 瓶原地区水辺づくり委員会		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> 水路、農道の草刈りや泥上げ 遊休農地発生防止のための保安全管理
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> 破損施設の補修（開水路、ため池、農道） 水路、農道の機能診断 防護柵の見回り 水路の点検活動
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> 施設沿いへの花（ペゴニア）などの植栽活動 遊休農地を活用した景観作物（コスモス、そば）の植栽活動
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> 活動参加者への費用弁償 活動に必要なとなる資材費等（草刈機、花苗の購入） 事務経費（実績報告作成用器具購入等）

◇共同活動状況写真



(基礎) 計画作成の集会



(基礎) ゲートの点検



(誘導) 景観向上のための植栽



(誘導) 水路の機能診断

○取組にあたって工夫したこと

- ・対象区域（9集落）が広いので、計画の作成に苦労した。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・歴史的な土地改良施設である大井手水路の保全活動
- ・地域で生産された環境に優しい安心・安全農産物を地元へ供給し、地産地消を推進（瓶原まちづくり協議会が農産物直販所を開設）

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ◇よかったこと
 - ・地域の水路・農道・ため池の点検ができた。
 - ・遊休農地の草刈り作業ができた。
- ◇苦労したこと
 - ・地域が広いので役員への情報伝達
 - ・報告書の作成

○今後の活動の展開について

- ・今後はさらに向上対策により本格的に取り組む、地域として農地・水・環境を守る。
- ・月1回発行している広報誌の内容をより充実させる。
- ・各集落の要望をきめ細かく収集するよう役員の点検活動を励行する。
- ・「景観活動」について、住民から広く意見・アイデア募集する。
- ・瓶原土地改良区と連携して、大井手水路ウォーキングを実施し水路の保安全管理について市民の理解を得る。（市民との交流を図るため芋煮会を開催する。）
- ・ほ場整備、大井手水路の整備に向けて地元の意志結集を図る。

ロハスな村づくりを目指して

組織番号	6260940055
ふりがな	こうざきふるさとをまもるかい
活動組織名	神前ふるさとを守る会
ふりがな	かめおかしみやざさちょうこうざき
所在地	亀岡市宮前町神前



【位置図】

○協定の対象となる資源

農用地	協定 対象	田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間直営協定対象[ha]
		50.0	0.2		50.2	
農業用施設 [km、個所]		開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]	
		23.1		11	11.5	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	73	うち農業者[人]	62	うち非農業者[人]	11
	農業関係団体数 [団体]	2	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・神前農家組合 ・西部土地改良区 		
その他の団体数 [団体]	9	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・神前区・神前財産区管理会 ・神前村づくり委員会 ・宮前町青少年健全育成協議会 ・宮前町体育振興会 ・神前子供育成会 ・神前睦会・神前婦人会 ・宮前消防分団 			

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水路、農道の草刈りやため池の泥上げ
誘 導 (農地・水向上)	・ため池の堤体浸食の早期補修
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌（ロハスな便り）の発行 ・ため池の外来種の駆除 ・田んぼピオトープ ・施設沿いへの花（つつじ）の植栽
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参加者への日当 ・活動に必要な資材費等（砕石等） ・機械の借り上げ経費（ランマ）

◇共同活動状況写真



(基礎) 排水路の堆積土砂上げ



(誘導) ため池取水栓の確認及び点検



(誘導) 農道法面にアジサイの植栽



ため池安心・安全マップづくりに向けたワークショップ

○取組にあたって工夫したこと

- ・従来からの共同活動と新たに実施する活動との整合（手当て等）
- ・農家以外の住民の理解と参加協力体制の確立

○活動組織（地域）で誇れること

- ・土地改良区を筆頭に、区の各種団体がメンバーとなり事業実施団体を構成した。
- ・特段他の地域と差異はないと考えるが、地域の住民が主役となる、地域の住民にとって住みよい村となる活動を計画、実践していきたい。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・活動については、地域住民だれもが参加できる活動を企画するよう心掛けている。
- ・本活動を通して、地域住民の環境意識の高まりとそれらの情報発信元となれるよう取り組んでいる。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・何もかもが初めての取り組みであり、人集めの難しさを感じている。

○今後の活動の展開について

- ・本制度を実践することで、今後の地域課題を洗い出し、地域住民の話し合いを十分に行い、企画立案をしていきたい。
- ・また、地域の環境問題等について共通認識を持っていただける団体等とも協力し合い、共に村づくりを考えていきたい。

○その他（要望・意見）

- ・本事業の主たる目的が、担い手農家の支援なのか？農村の環境については地球規模での環境問題なのかと、「農家が、農村が」目指す方向の選択幅がもう少しあってもいいのではないかと。
- ・農業経営規模、農村集落規模など一律で事業統括できない京都の農業の現状に合致した施策の展開が望まれます。

多様な組織と連携した地域活性化

組織番号	6260940084
ふりがな	ふなおかのうち・みず・かんきょうほぜんこうじょうたいさくいいんかい
活動組織名	船岡農地・水・環境保全向上対策委員会
ふりがな	なんだんしそのべちょうふなおか
所在地	南丹市園部町船岡



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	40.6	0.0		40.6	
	対象	40.6	0.0		40.6	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]		パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]	
		15.7		2	6.2	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	127	うち農業者[人]	67	うち非農業者[人]	60
	農業関係団体数 [団体]	0	内 訳			
	その他の団体数 [団体]	5	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・船岡区 ・船岡花友の会 ・桜会 ・船岡老人会 ・川辺小学校PTA船岡地域 		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・水路、ため池、農道の草刈りや泥上げ ・遊休農地の発生防止
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・水路、ため池のゲート類の保守管理 ・きめ細やかな雑草対策 ・異常気象後の見回り
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と連携した水生生物の観察会 ・景観形成のための施設への植栽等 ・子ども環境ポスターの掲示
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参加者への日当 ・活動に必要な資材の購入 ・借上げ経費等

◇共同活動状況写真



(基礎) 構成団体を交えた推進会議



(誘導) ゲート類の保守管理



(誘導) 川辺小学校と連携した水棲
生物観察会



(誘導) 景観作物の植栽

○取組にあたって工夫したこと

- ・区への呼びかけ、協力依頼、身近な組織に呼びかけた。
- ・体制を整えていくために、非農家との関わりを検討課題とした。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・各組織団体が機能していること。
- ・各組織団体も支援の母体となっていること。
- ・各組織団体と密接に連携している。そのため要望事項が多くあることから活性化が図られる。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・ローカルであるが、子どもから老人まで一緒に巻き込んだ組織をつくること。
- ・学校にも協力を得て活動を強化すること。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・草刈りにしても溝そうじにしても、子どもから老人までその充実感人には言えないものだが、「やってよかった。」と皆が言ってくれる。

○今後の活動の展開について

- ・高齢化、老人社会が進んでいる中で、人間関係を豊かにしていきたい。
- ・JRや府道があり恵まれた地域のように思われるかもしれないが、空家が10戸、老人の1人ぐらしが10戸、遊休農地も増えてきているので、若い人達が住みやすい集落にしていきたい。

○その他（要望・意見）

- ・この事業が5年で終わると思っていないが、現段階で成功しているのでこの運動を今後も国としても続けてほしい。
- ・そのためには、もっと交付金を出してほしい。全国でもそれを望んでいるはず。

協働活動で集落コミュニティ再生

組織番号	6260940167
ふりがな	かんだにかつどうそしき
活動組織名	神谷活動組織
ふりがな	なんだんしみやまちょうかんだ
所在地	南丹市美山町神谷



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]	
農用地	協定	3.9			3.9	3.5	
	対象	3.9			3.9	3.5	
農業用施設 [km、箇所]	開水路[km]		パイプライン[km]	ため池[箇所]	農道[km]		
		3.5			1.0		
営農活動対象区域		区域内農用地面積 [ha]			3.9		
先進的営農取組 面積(計画) [ha]	水稻	麦・豆類	いも・根菜類	葉菜菜類	果菜・果実の樹木類	施設トマト等	その他
	0.9						

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	16	うち農業者[人]	14	うち非農業者[人]	2
	農業関係団体数 [団体]	1	内 訳	・神谷農事組合		
	その他の団体数 [団体]	1	内 訳	・神谷区		
	営農活動支援	区域内 農家[戸]	環境負荷低減に取り 組む農家 [戸]	先進的営農支援に取り組み 農家(のべ) [戸]		
	10	10	3			

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水路、農道の草刈りや泥上げ
誘 導 (農地・水向上)	・畦畔の再築立、獣害防止柵の適正管理 ・きめ細やかな雑草対策
誘 導 (農村環境向上)	・農用地を活用した景観に配慮した作付け（ソバ） ・地域住民等との交流活動（田植え体験）
主な用途	・共同活動日当、事務費ほか

◇共同活動状況写真



(基礎) 水路の泥上げ作業



(誘導) 鳥獣害防護柵の適正管理



(誘導) 景観に配慮したソバの作付



(誘導) 地域住民等との田植体験

◇営農活動（代表的活動・特徴的活動）

地域全体で行う環境負荷低減の取組(主な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥等有機質資材の施用 ・温湯種子消毒技術の利用
環境負荷低減に向けた推進活動(営農基礎活動支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・標示看板作成 ・土壌分析 ・先進地視察
先進的な取組(先進的営農活動の主な促進)	<ul style="list-style-type: none"> ・取組農家へ配分(100%)

◇営農活動状況写真



米ぬかを活用した有機質肥料主体の米づくり

— 50%減の先進的取組ほ場 —



先進地視察

岡山県へ有機農業実践に係る視察を実施

○取組にあたって工夫したこと

- ・中山間地域等直接支払との重複
- ・営農活動は近隣集落との連携
- ・事務が煩雑であるため、役員が大変苦労した。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・集落のまとまりが強い。
- ・集落の区民に活気がある。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・集落コミュニティの再生のため、何事にも協働を進めている。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・農地保全はもちろん、集落環境保全にも取り組み、集落を守る機運が高まった。

○今後の活動の展開について

- ・老若男女が、それぞれ関われる仕事（舞台）づくりに挑戦したい。
- ・集落間の連携を強め、広く関わりをもって地域を充実させたい。

○その他（要望・意見）

- ・高齢者が増える中、中山間地域の農村環境を守ることは大変である。中山間地域等直接支払制度や本対策に今後も取り組みたいので、事業を継続してほしい。

未来につながる村づくり

組織番号	6260940197
ふりがな	しらつちむらづくりかい
活動組織名	白土村づくり会
ふりがな	きょうじんばちょうしもやま
所在地	京丹波町下山



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	8.9	0.3		9.2	8.5
	対象	8.9	0.3		9.2	8.5
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	6.9				
	パイプライン[km]			2		
	ため池[個所]				3.2	
	農道[km]					

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	29	うち農業者[人]	23	うち非農業者[人]	6
	農業関係団体数 [団体]		内 訳			
	その他の団体数 [団体]	4	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・白土区 ・白土老人会 ・白土PTA ・消防団白土班 		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・農用地、開水路、ため池、農道の草刈・泥上げ 等
誘 導 (農地・水向上)	・農用地、開水路、ため池、農道のきめ細やかな草刈 ・施設の保守点検・補修 等
誘 導 (農村環境向上)	・景観形成活動（農道沿いへの植栽）
主な用途	・資材購入費 ・活動参加者への日当

◇共同活動状況写真



(基礎) 砂利の補充



(誘導) 鳥獣害防護柵の適正管理

◇ステップアップ支援（促進費）の取組

高度な農地・水向上	<ul style="list-style-type: none">・ 素掘水路をコンクリート水路に改修・ 平成19年度 事業費：300千円、事業量：80m
-----------	---

◇ステップアップ支援状況写真



水路の布設（施工中）



水路の布設（完成）

○取組にあたって工夫したこと

・ 白土区や農事組合、中山間地域等直接支払交付金事業の役員が白土村づくり会の役員に就任して、煩雑な庶務、事務手続きを担当することで、順調にスタートすることができた。

○活動組織（地域）で誇れること

・ 一時期、集落の若者の都会への流出が見られたが、近年は、ほぼ全戸に若者が定着している。
・ 一見、変哲のない集落であるが、人の結びつきや協働が深く理解され、比較的住み良い集落であると思っている。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・ 集落の地形上、川の水を頼りにすることが出来ず、農業用水や防火用水については、専ら谷川とため池の水に頼らざるを得ないことから、ため池から集落までの用水路の維持管理に全力を注いでいる。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・ 少しずつながらも、素掘り水路がコンクリート水路へと改修が進むことにより、旧来からの宿願が叶いつつある。また、集落全体で美化運動を展開するにあたり、各戸から1名以上が参加し活動したことは、集落全体の協調性が図れ、集落の活動をアピール出来る良い機会であった。

○今後の活動の展開について

- ・ 当面は、活動組織の役員も一定期間固定した中で、中山間地域等直接支払交付金事業、農事組合事業等と連携しながら、集落が最も力点を置いている用水路改修についての長期計画を樹立し、早期完了を目指して一致団結し取り組む予定である。

○その他（要望・意見）

- ・ 実施状況報告書等の庶務書類が複雑なため、パソコンが使えない方が担当しにくい。誰でもが事務を担当出来るよう、更なる簡素化をお願いする。

学校との連携による環境保全活動

組織番号	6260940228
ふりがな	しもかわぐちちいきしげんほぜんかい
活動組織名	下川口地域資源保全会
ふりがな 所在地	ふくちやまししもかわぐち 福知山市下川口地域



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	68.3	4.0	0.0	72.3	—
	対象	68.3	4.0	0.0	72.3	—
農業用施設 [km、箇所]	開水路[km]	パイプライン[km]		ため池[箇所]	農道[km]	
		20.3	2.5	0	17.6	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]		うち農業者[人]	うち非農業者[人]
	農業関係団体数 [団体]	9	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・牧農区他8農区 ・(株)味歩里
その他の団体数 [団体]	15	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・牧自治会他8自治会 ・消防下川分団・下川口老人会 ・天津小学校PTA・成和中学校PTA ・天津公民館・天津保育園保護者会 ・下川口福祉推進協議会 	

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・農道、水路、パイプライン周辺の草刈り ・遊休農地の整地 	<ul style="list-style-type: none"> ・水路、農道側溝の泥上げ ・水路、パイプラインの配水操作
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣害防護柵の補修 ・水路の目地詰め及びコーティング、破損箇所の修理 ・農道の破損箇所の修理 ・パイプラインの空気抜弁の更新・パイプライン給水栓の凍結防止対策 	
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の農地・水・環境」をテーマとした写真コンテスト ・啓発ビデオ（活動計画から取組みまで）の上映会 ・親子水質観察会、大根収穫体験、環境美化作業、花いっぱい運動 	
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参加者への日当 ・機械借上げ料（軽トラック、草刈機、重機など） ・業者への委託費（田整地、農道補修、パイプライン施設の補修） ・管理運営費（備品費、消耗品費、コピー代、郵送料、お茶代） 	

◇共同活動状況写真



(基礎) 開水路の泥上げ作業



(基礎) 遊休農地の整地作業



(誘導) 鳥獣害防護柵補修



(誘導) 親子水質観察会実施

○取組にあたって工夫したこと

- ・事業内容を住民へ理解してもらうのに時間がかかった。
- ・活動を前向きに捉え、交付金を有効に使い、それによって地域が少しでも良くなるという認識で取り組んだのが良かった。
- ・事務局がリーダーシップを発揮して、組織を引っ張ったのが良かった。
- ・実施してよいこと、よくないことを明確にして取り組んだのが良かった。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・組織がよくまとまっていて、協力的である。
- ・農村環境向上活動において、公民館、小学校、中学校PTA等の協力により充実した活動ができています。
- ・役員に、農業の専門家、会計処理、事務処理等のエキスパートがおり、運営が比較的うまくいっている。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・ 交付金によって多くのことができ、地域の農区が活性化することを期待している。
- ・ 日当などの支出は極力抑え、農区の予算ではできなかった大型の事業の実施に、交付金を有効に活用するよう努力している。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・ 事業が軌道に乗るまで、住民の関心も低く、役員の負担が大きかった。
- ・ 遊休農地の整地や、重機による深い水路の泥上げなど、今まで公費での実施ができなかった作業が実施できて、本当にありがたかった。
- ・ 事業に取り組んだことにより、農区間の連携が密になり、相互理解が深まった。

○今後の活動の展開について

- ・ まずは、農用地及び各施設（水路、パイプライン、農道）の整備（補修、改修、更新等）に取り組む。
- ・ 地域全体が、農地・水・環境保全向上活動に積極的に参加し、協力するような体制づくりを目指す。

『田園・自然・鹿原』 —ホタルが結ぶ集落の環—

組織番号	6260940244
ふりがな	かわらちくかつどうそしき
活動組織名	鹿原地区活動組織
ふりがな	まいづるしかわら
所在地	舞鶴市鹿原



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	15.4	0.0		15.4	
	対象	15.4	0.0		15.4	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]		
	6.0			3.1		

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	45	うち農業者[人]	45	うち非農業者[人]	
	農業関係団体数 [団体]		内 訳			
	その他の団体数 [団体]	2	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿原町内会 ・鹿原子供会 		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・農道、水路の草刈りや泥上げ ・農道の砂利補充
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・水路法面の初期補修 ・取水ゲートの保守管理
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供会等による生き物の生息状況調査 ・ホタル観察会
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参加者への日当 ・活動資材費（啓発看板等）

◇共同活動状況写真



（基礎）農道の砂利補充作業



（誘導）取水ゲートの保守管理



（誘導）ホタル観察会実施



（誘導）生き物観察会実施



（誘導）生態系保全啓発看板の制作



（誘導）生態系保全啓発看板の設置

○取組にあたって工夫したこと

・ 非農家の活動組織への参加の呼びかけに時間を要したため、組織の立ち上げが遅れた。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・集落内の大半の人たちが活動に参加してくれている。
- ・農村環境資源マップを作成している。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・ホタルの保全活動に特に力を入れている。
- ・近年、ホタルの数も少なくなり、子供たちにホタルを残してやりたいとの思いがあり、家族でホタルを鑑賞する機会も少ないため、地域住民みんなで鑑賞する機会を作ろうと思った。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・子供たちと一緒に家族もたくさん参加してくれた。
- ・子供たちに実際にホタルを見せたり、触れさせることができた。
- ・ホタル観察会等の取り組みのため、集落全体で川の草刈りなどに取り組んでくれた。

○今後の活動の展開について

- ・本対策の実施期間終了後も、地域として何らかのメリットが残せるよう、生態系保全活動等は今後も取り組んでいきたい。

集落全員で『水土里』を守ろう！

組織番号	6260940291
ふりがな	かみやたみどりかい
活動組織名	上八田水土里会
ふりがな	あやべしかみやたちょう
所在地	綾部市上八田町



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	36.1	1.2		37.3	
	対象	36.1	1.2		37.3	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	29.0	パイプライン[km]	1.0	ため池[個所]	4
					農道[km]	15.2

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	76	うち農業者[人]	57	うち非農業者[人]	19
	農業関係団体数 [団体]		内 訳			
	その他の団体数 [団体]	4	内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・上八田自治会 ・西八田小学校PTA ・老人会 ・上八田ボランティアロード 		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	・水路、農道の草刈りや泥上げ
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・破損施設の改修（パイプライン） ・施設の改修（給水路のかさ上げ）
誘 導 (農村環境向上)	・歩道緑地に植栽（チューリップ、マリーゴールド）
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・活動参加者への日当 ・共同作業用機械（借上げ料）

◇共同活動状況写真



(基礎) 農道の草刈り作業



(基礎) 砂利の補充



(基礎) 水路の泥あげ作業



(誘導) 生き物調査

○取組にあたって工夫したこと

- ・中山間地域直接支払が行われているのに重なるような取組の必要性の説明、同意の取付に苦労した。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・集落の全員が活動に参加している。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・非農家の方々の給水路掃除、草刈参加により防火・防災意識向上

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・隣地、農道、林地等で刈残りがあったが、取組により地域全体、環境に配慮出来るようになってきた。（道端の花を刈り取らないなど景観保全活動の協力者が増えた。）

○今後の活動の展開について

- ・学校教育と連携した活動については、大変有効な活動であると考えており継続して実施したい。
- ・集落の皆さんの個々の頑張りにより美しい環境が守られてきたが、高齢化が進む中、何事も集落全体で取り組めるよう努力したい。

地域一体の景観保全向上活動と先進的営農の取組

組織番号	6260940299
ふりがな	とくらしいきしげんかんきょうほぜんくみあい
活動組織名	十倉地域資源環境保全組合
ふりがな	あやべしとくらしも とくらなか
所在地	綾部市十倉志茂、十倉中



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	18.2	0.2		18.4	
	対象	18.2	0.2		18.4	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]		ため池[個所]	農道[km]	
		2.6	1.4		3.2	
営農活動対象区域		区域内農用地面積 [ha]			18.4	
先進的営農取組 面積(計画) [ha]	水稻	麦・豆類	いも・夜叉芋	菜菔菜類	果菜・果実地帯果類	施設トマト等 その他
	7.9					

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	67	うち農業者[人]	21	うち非農業者[人]	46
	農業関係団体数 [団体]	1	内 訳			
	その他の団体数 [団体]	5	内 訳	・十倉志茂自治会・十倉中自治会 ・十倉なんでも会・あやべアグリフレンド ・エコファーマークラブ		
	営農活動支援	区域内 農家[戸]	環境負荷低減に取り 組む農家 [戸]	先進的営農支援に取り 組む農家(のべ) [戸]		
	16	16	9			

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・用水路の泥上げや目地詰、農道の法面の草刈り ・遊休農地防止活動（市民農園の開設）
誘導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・畦畔の再構築 ・施設の補修等の保守点検
誘導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・水棲動物（蛭）保全研修 ・景観作物の栽培（グラジオラス）
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・施設補修資材購入 ・共同作業用機械（借上げ料） ・水棲動物（蛭）育成、保護、研修費

◇共同活動状況写真



(基礎) 農道の草刈り作業



(基礎) 取水堰の点検・診断



(誘導) 水路の点検・補修



(誘導) 景観作物(グラジオラス)の作付

◇営農活動(代表的活動・特徴的活動)

地域全体で行う環境負荷低減の取組(主な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・濁水流出防止(浅水代かき)の研修、実践 ・エコファーマークラブによる牛糞堆肥の秋施用(2t/10a)推進 ・水稻種子の温湯消毒の徹底(100%)
環境負荷低減に向けた推進活動(営農基礎活動支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・技術研修 ・普及啓発資料の配付
先進的な取組(先進的営農活動の主な使途)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人配分(90%) ・電気柵電気料及び保守資材費

◇営農活動状況写真



浅水代かきの実践



水稻種子の温湯消毒



先進的営農活動の展示実証

○取組にあたって工夫したこと

- ・個々の組織の呼びかけで共同活動を行ってきたことが、非農業者を含めた地域全体の活動となり難い為、共通の話題で多くの参加者を得るために、休耕田を借上げ、景観作物（グラジオラス）の作付けを行う等、誰もが参加しやすい活動を通じて、対策の理解を図った。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・長年継続して実施している農道、排水路法面の草刈（年2回共同活動）作業及び、集落全体では河川堤防の草刈り作業。
- ・都市住民との交流（農作業体験）や定住者の農業への参入。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・農家組合を中心とした農地等の保全から、担い手中心とした農業へ移行した現在、担い手だけでは農道、水路等の法面の草刈が困難な為、地権者も含め、これらの草刈りも行って来た。これの延長として、地域資源保全活動に取り組んだ。今後このような支援事業に対して地区民の方へ理解を深め、地域保全活動を盛り上げようと頑張っている。

○取り組んでよかったこと・苦勞したこと

- ・役員の中にも共同活動を理解してもらえない人があり、対応に苦慮した。
- ・現在現役で頑張っている人も一年一年者いる。
- ・地域の後継者をどう確保したらよいか。

○今後の活動の展開について

- ・当地域は都市からの定住者が多く、この方たちの農業者として受入の体制作りを含め集落が一体となって農業を検討する必要があるように思う。
- ・担い手の高齢化対応。
- ・現在取り組んでいる支援活動を基礎にして、同じ目線で行動出来易い、環境保全活動の充実を図りたい。

○その他（要望・意見）

- ・交付金（特に営農基礎支援）の受取時期が遅いため、活動が難しい。
- ・営農基礎支援交付金の使途の範囲をもう少し広げて欲しい。
（当地区は、水稻種子の温湯消毒機を購入したが、利用料だけでは返済に長期間を要する。（10年））

自然の恵み豊かな郷土をみんなで守ろう！

組織番号	6260940331
ふりがな	おだしゅくのかんきょうかいぎ
活動組織名	小田宿野環境会議
ふりがな	みやづしおだしゅくの
所在地	宮津市小田宿野



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	12.1	4.4		16.5	3.8
	対象	11.5	2.4		13.9	3.8
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	6.1				
	パイプライン[km]				3.9	
				ため池[個所]		
				農道[km]		

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	90	うち農業者[人]	60	うち非農業者[人]	30
	農業関係団体数[団体]	1	内 訳	・小田宿野営農組合		
	その他の団体数 [団体]	5	内 訳	・小田宿野自治会・小田宿野子供会 ・小田宿野友楽会・小田宿野てんま会 ・小田宿野宮場会		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の点検 ・草刈り ・泥上げ（対策が始まるまで泥上げをしたことがなかった） ・遊休農地対策（10年間余り耕作していなかった農地を耕作可能に）
誘 導 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の機能診断 ・鳥獣害防護柵の適正管理 ・きめ細やかな雑草対策
誘 導 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・景観整備のためのプランターへのチューリップ球根植え付け ・10年間余り耕作放棄地になっていた農地をレンゲ畑に ・ホテルの生息調査と鑑賞会のための竹灯籠設置 ・法面へのイワダレソウ植栽 ・EM菌を利用した排水路の水質浄化
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成のためのプランターや種子の購入 ・水質浄化のためのEM菌購入

◇共同活動状況写真



(基礎) 水路の泥上げ作業



(誘導) 鳥獣害防護柵の適正管理



(誘導) 景観形成チューリップの
フラワーロード



(誘導) 法面へのイワダレソウ植栽



(誘導) EM菌を利用した排水路の
水質浄化



(誘導) ホタルの生息調査と鑑賞会
のための竹灯籠設置

○取組にあたって工夫したこと

- ・ 非農家への積極的な参画呼びかけ。
- ・ 行政とのパートナーシップにより、多彩な活動につなげること。
- ・ 新たな取組を積極的に行うことにより、集落が参加しやすい環境づくりをおこなった。
- ・ 交付金を日当に使わないこと。
- ・ 多彩な人材を活用すること。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・集落全体が活動に参加している。
- ・集落が新しいものに積極的に挑戦している。
- ・集落に遊休農地がない。
- ・村の多彩な人材。
- ・村と行政のパートナーシップ。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・全員が主役になれるよう、多くの構成員が参加できるよう配慮したこと。
- ・地域にある伝統的な資源（農村景観）の保全活動。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・すべてが初めての取組であり、失敗の連続であったが、やらないと気づかないことが多く、今後の活動の参考になった。
- ・取組を通じて、毎日の暮らしの中では気がつかなかった、「大切な自然が傷んでいる」ことに気づき、さまざまな活動を通じてこのことを多くの人に知ってもらえた。
- ・活動を通じて、みんなで力を合わせることができるようになった。
- ・今まで行政頼みにしていた活動を集落でやってみようという機運が生じた。地域の総意に至るまで話し合いを重ねたこと。

○今後の活動の展開について

- ・他の活動組織より当地区の対象農用地は小さく、大規模農業はとても無理であるが、小さくても発展できる集落づくりを目指して、地域を守る取組・魅力の情報発信も含め、今後の活動を展開していきたい。

○その他（要望・意見）

- ・農地・水・環境の基礎部分・誘導部分の一本化
- ・農村環境向上活動の活動内容の自由化

『共同の力』を発展させよう

組織番号	6260940355
ふりがな	ほんでかんきょうほぜんいんかい
活動組織名	品田環境保全委員会
ふりがな	きょうたんてしゅくみはまちょうほんで
所在地	京丹後市久美浜町品田



【位置図】

○協定の対象となる資源○活動組織

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]	
農用地	協定	30.7	1.5	0	32.2	4.5	
	対象	30.7	1.5	0	32.2	4.5	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]		ため池[個所]	農道[km]		
		5.2	3.0		3.4		
営農活動対象区域		区域内農用地面積 [ha]			7.8		
先進的営農取組 面積(計画)[ha]	水稻	麦・豆類	いも・根菜類	葉菜類	果菜・果実的野菜類	施設トマト等	その他
	6.0	1.8					

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	38	うち農業者[人]	34	うち非農業者[人]	4
	農業関係団体数 [団体]	2	内 訳	・営農組合 ・特別農業法人 誠農海部(株)		
	その他の団体数 [団体]	4	内 訳	・品田区 ・だんじり保存会 ・老人会 ・子供会		
	営農活動支援	区域内 農家[戸]	環境負荷低減に取り 組む農家 [戸]	先進的営農支援に取り組む 農家(のべ) [戸]		
		26	26	9		

○活動概要

◇共同活動(代表的活動・特徴的活動)

基 礎	・農道補修(砂利補充)・水路の泥上げ、草刈
誘 導 (農地・水向上)	・水路補修・農道補修(農道コンクリート舗装) ・各施設点検活動
誘 導 (農村環境向上)	・景観形成・生態系保存活動の普及 ・川の生き物観察とウォーキングの開催 ・ほたる生育観察会の開催 ・生活環境保全活動(農道等施設のゴミ拾い)の実施
主な用途	・各活動に係る人件費 ・各施設の修繕等に係る原材料費

◇共同活動状況写真



(基礎) 路肩、法面の草刈り作業



(基礎) 水路の泥上げ作業



(誘導) 農道のコンクリート舗装



(誘導) 生物の生態状況の把握

◇営農活動（代表的活動・特徴的活動）

地域全体で行う環境負荷低減の取組(主な取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・たい肥等有機質資材の施用 ・有機質肥料の施用
環境負荷低減に向けた推進活動(営農基礎活動支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・温湯種子消毒・窒素の適正施用・畦畔除草 ・播種時期の調整・フェロモン剤利用・マルチ栽培の実施 ・生分解性プラスチックの利用
先進的な取組(先進的営農活動の主な使途)	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的取組農家(水稻・黒大豆)の面積に応じて100%配分

◇営農活動状況写真



生分解性マルチの利用



フェロモントラップの利用



浅水代かきの実施

○取組にあたって工夫したこと

- ・現在、農業者の比率が減少しつつある中で、多くの区民の協力を得るために、区の役員会を中心に営農組合はもちろん、区にある各団体に協力を求め将来の村づくりについての取組を検討、多くの区民が参加できるように活動内容を集約し、無理のない活動で地域の活性化を目指している。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・「共同の力」この言葉は、この区で昔から伝えられている区民の精神です。昔から多くのことを共同で行うことで、区民が助け合ってきました。このことにより、今日までいろいろな事業又農業施策が他の区に先駆けて行われている。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・水田の再圃場整備を契機に集落営農に取組、農地の所有権と耕作権を分離し、計画的土地利用と主要機械の受託作業体制による生産コストの節減に努めてきた。
- ・昨年には、農業経営の継続と農地の有効活用かつ保全に取組むため、特定農業法人を設立しました。
- ・今後は、環境にやさしい農法により、消費者に安心安全な農産物を提供する取組を、集落の農地全体で取組んでいきたい。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・最近の農業は機械化が進み又、法人が組織できたことで、田んぼに行くことが非常に少なくなっている。
- ・特に子供たちが農業に携わることがほとんど無く今回の活動で畦道を歩き、水に親しむことが出来たことは、区を知る絶好の機会でした。
- ・各年代の区民の多くの人たちに、より多くの活動に参加していただける内容が年間を通じて提供が出来難く、また日程や時間等の制約もあり、今後の課題としたい。

○今後の活動の展開について

- ・活動に一定のかたちが出来つつある中で、今後は女性の参加を考えていきたい。
- ・年間を通じて、花いっぱい運動と名付け主なる農道に花を植え付けることで活動の意義を伝え、又こころのよりどころとなれば最高です。

○その他（要望・意見）

- ・活動内容等がある程度限定されることは仕方がないと思いますが、区により農業の手法、生活のパターンは異なります、現状に応じた必要な活動を認めていただきたい。

力を合わせて伸びゆく村を

組織番号	6260940403
ふりがな	きばしくのうち・みず・かんきょうほぜんたい
活動組織名	木橋区農地・水・環境資源保全隊
ふりがな	きょうたんこしやさかちようきばし
所在地	京丹後市弥栄町木橋



【位置図】

○協定の対象となる資源

	田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間地協定対象[ha]
農用地	協定	37.1	34.7	71.8	
	対象	27.4	33.8	61.2	
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	パイプライン[km]	ため池[個所]	農道[km]	
	8.85	21.92		18.136	

○活動組織

構 成 員	構成員数[人]	115	うち農業者[人]	49	うち非農業者[人]	66
	農業関係団体数 [団体]	3	内 訳	・国営農地管理組合 ・国営営農組合 ・農事組合		
	その他の団体数 [団体]	9	内 訳	・木橋区自治会・小学校PTA ・婦人会 ・シルバークラブ ・中学校PTA ・壮健会 ・子供会 ・公民館 ・機業組合		

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基 礎	<ul style="list-style-type: none"> ・開水路、農道、ため池の草刈と泥上げ、路面整備 ・遊休農地草刈保全 ・農道沿い山林整備（農道環境整備） ・国営農地内 ・農道のバラス敷設、沈砂池周辺の草刈り
課 題 (農地・水向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ため池補修（マグホワイトによる堤体補修） ・パイプライン排泥弁ボックス補修 ・国営農地全パイプライン排泥 ・国営農地パイプライン各種ボックス錆止め塗装 ・国営農地パイプライン漏水防止工事 ・農道一部コンクリート舗装 ・国営及び一般農道雨水による路面侵食防止のための排水路新設 ・水路コンクリート蓋からグレーチング設置変更 ・国営農地沈砂池管理橋の錆落とし及び錆止め塗装 ・パイプライン修理技術講習会の開催
課 題 (農村環境向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・景観整備のためのカンナ球根植え付け ・区域内環境整備（ゴミ拾い他） ・ホテルの生息調査と捕獲禁止申し合わせ、捕獲禁止看板の設置 ・川の生きもの調査 ・生きものの生息環境づくり（休耕水田活用） ・国営農地内環境整備（大型不法投棄ゴミ回収処分）
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ・共同活動参加者への弁当 ・草刈機、車両、重機の借上料 ・再生バラス、U字溝、コンクリート、グレーチング等々活動資材購入 ・看板作製費及び事務処理費

◇共同活動状況写真



(基礎) 農道側溝の泥上げ・草刈り作業



(誘導) U字溝の設置



(誘導) 沈砂池管理構 錆止め塗装



(誘導) 生き物調査の実施



(誘導) パイプライン補修研修会の開催



(誘導) ホタル観察会の開催

○取組にあたって工夫したこと

- ・いち早く本事業に着手することを決め、計画づくりに取り組み、従来区で実施してきた事業の他に、実施することが課題とされていた事業に積極的に取り組んだこと。
- ・特に、広大な国営農地内のさまざまな施設の管理を徹底し、将来長きにわたって故障もなく安心して使用できる工夫をしたこと。
- ・環境問題にも初めて取り組み、安心安全な地域づくりへの足がかりを付けたこと。

○活動組織（地域）で誇れること

- ・ 婦人会、壮健会等々自治会の他に多くの組織が健在しており、それぞれの組織が与えられた機能を発揮していること。
- ・ 当番制により神社の掃除を毎月実施しているほか、毎日夜警を実施。きれいな村づくりや安心安全な村づくりへ区民が力を合わせて努力していること。
- ・ ろばた懇談会を開き、生活の周りのことなどやそれぞれが考えなければならない事柄について、話し合うなど住みよい村づくりをめざし公民館活動が充実していること。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・ 従来取り組んできた区の事業のほかに、よりよい村づくりのため実施しなければならない項目実施のため、多くの構成員が参加できるよう配慮したこと。
- ・ 5年間で1,000万円を超える村づくり交付金は最大の魅力。資金面等で従来取り組むことができなかった事業も積極的に実施。
- ・ 織物業等地場産業不振の中で各種事業参加による雇用の確保も魅力的であったこと。構成員から非常に喜ばれている。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・ 交付金のお陰で初めて取り組んだ事業も多く、国営農地施設等農業施設管理の徹底が期せた。
- ・ わずかだが雇用の確保と収入の増加。構成員の区費負担の軽減。
- ・ 環境問題取り組みへの先鞭。
- ・ 事務処理はほとんど夜間に行うなど苦労もあったが、会計検査のことを考えれば適切に処理しておかなければと言いついて聞かせてきた。
- ・ 構成員への周知と参加者の確保が困難な面もあった。

○今後の活動の展開について

- ・ 本制度の趣旨を構成員全員で理解し、さらに充実した共同活動を展開したい。
- ・ 農業用施設のさらなる管理の徹底を期したい。区民負担の軽減につながるように。
- ・ この2年間で約1haの遊休農地の解消を実施したいが、農業従事者の高齢化問題等も農業者全員で協議し耕作放棄地が発生しないよう努めたい。
- ・ 環境負荷低減に取り組む農家が増加するよう努めたい。
- ・ 構成員が1回でも多く共同活動に参加できるよう広報活動を充実したい。

○その他（要望・意見）

- ・ 本事業は5年間の継続事業であるが、農村環境保全を考慮される制度の延長を希望したい。
- ・ 活動項目が地域の環境等によって適応しないものがある。それぞれの府県に適合するよう検討願いたい。

ホタルとメダカの里づくり

組織番号	6260940438
ふりがな	あつえのうちみずかんきょうほぜんいんかい
活動組織名	温江農地・水・環境保全委員会
ふりがな	よさぐんよさのちょうあざあつえ
所在地	与謝郡与謝野町字温江



【位置図】

○協定の対象となる資源

		田[ha]	畑[ha]	草地[ha]	計[ha]	中山間農地協定対象[ha]
農用地	協定	68.9	5.6	0	74.5	54.9
	対象	57.1	0.2	0	57.3	54.9
農業用施設 [km、個所]	開水路[km]	20.2				
	パイプライン[km]		0			
				ため池[個所]	1.0	
				農道[km]	10.8	

○活動組織

構成員	構成員数[人]	95	うち農業者[人]	95	うち非農業者[人]	
	農業関係団体数 [団体]	4	内 訳	・温江農事組合、温江温江中山間地委員会、温江下水利組合、温江堀池農道等管理組合		
その他の団体数 [団体]	5	内 訳	・温江区 ・老人会 ・山の家運営委員会 ・ふれあいサロン ・ホタル・メダカの会			

○活動概要

◇共同活動（代表的活動・特徴的活動）

基礎	・農道、水路の草刈りや泥上げ ・ため池管理道路の維持管理
誘導 (農地・水向上)	・水路の清掃作業 ・施設の補修等の保守点検
誘導 (農村環境向上)	・生態系保全活動（生物の生息状況の把握） ・農村環境向上活動（外来種の刈り取り）
主な用途	・活動参加者への弁当 ・活動資材費 ・車両等の借上げ経費

◇共同活動状況写真



(基礎) 農道の砂利の補充



(誘導) 水路法面の補修



(ステップアップ) コンクリート舗装



(誘導) ビオトープの整備

◇ステップアップ支援（促進費）の取組

高度な農地・水向上	・農道のコンクリート舗装
-----------	--------------

○取組にあたって工夫したこと

・当地域は地形勾配の急な中山間地であるため自然の溪流利用は不向きであった。
 また、ビオトープの整備には莫大な費用がかかる。
 そこで既存の構造物を活用して池を整備するとともに、間伐材を土留めに利用する等で整備費用を圧縮した。

○活動組織（地域）で誇れること

・自然と歴史に育まれた地域であること。

○特に力を入れていること（取組に至った背景等も含め）

- ・ 本体策を取り組むにあたって行った住民アンケートにおいて「ホタルが飛び交いメダカの住む温江」が1位であったことを受けて、環境の保全に積極的に取り組んでいる。

○取り組んでよかったこと・苦労したこと

- ・ 子どもをはじめ地域の方がたくさん参加してくれた。
また、生態系の保全を行うための仕組みづくりが確立できたこと。

○今後の活動の展開について

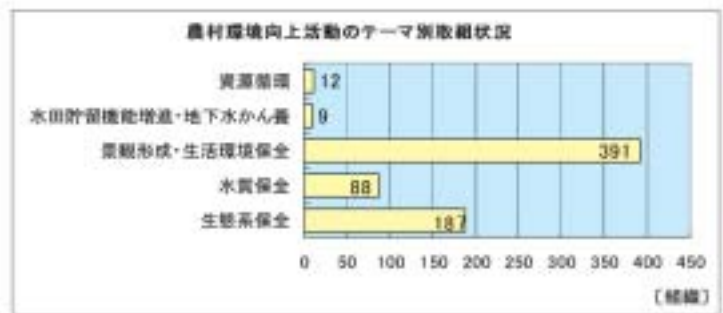
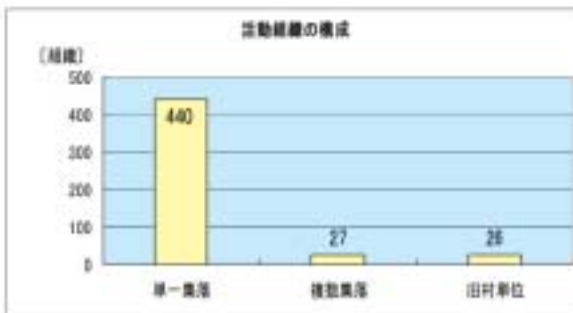
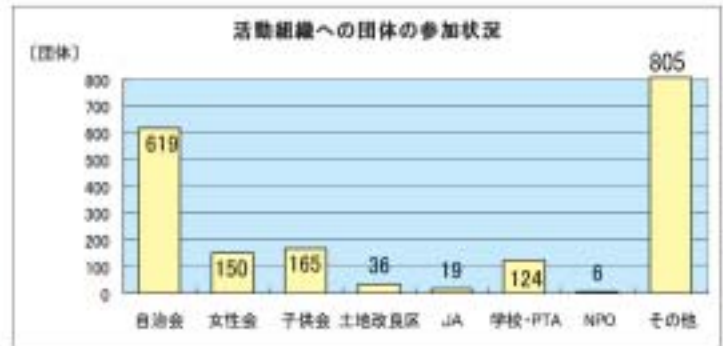
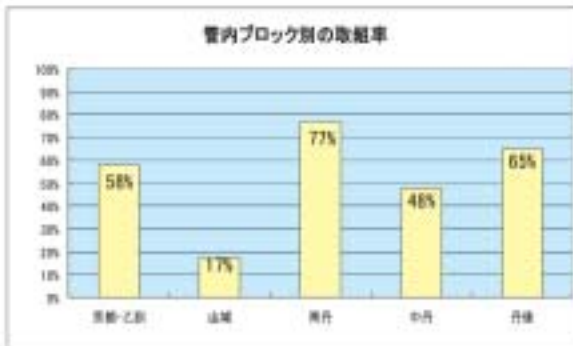
- ・ 本体策が終了した後も地域にメリットが残せるよう、生態系保全の活動は学校教育と連携することで、これからもずっと続けていきたい。

京都府の取組状況

(平成20年11月時点)

共同活動の取組

項目	数量	備考
実施市町村数	21市町	
活動組織数	493組織	
集落数	715集落	
交付対象面積	12,925ha	
農振農用地力パー率	53%	府内農振農用地面積 24,488ha
促進費協定数	41	



営農活動の取組

項目	数量	備考
実施市町村数	10市町	
取組組織数	32組織	
取組面積	293ha	水 稲 233ha 葉茎菜類 33ha 麦豆類 17ha 施設トキ等 4ha その他 6ha



発行 京都府農地・水・環境保全向上対策協議会
発行担当 協議会事務局（京都府土地改良事業団体連合会）
京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 京都府庁西別館
TEL 075-451-9633 FAX 075-414-2777
Mail : jimukyoku@nouchimizu-kyoto.jp
HP <http://www.nouchimizu-kyoto.jp/>

